

準PAZ内の離島における住民の避難

- 女川町及び石巻市における準PAZ内の離島の住民について、宮城県、女川町及び石巻市が手配した船舶で離島から移動し、女川港又は石巻港から宮城県、女川町及び石巻市が手配した車両で、避難所受付ステーションを経由し、避難所に避難。
- 避難先については、避難計画に関する住民説明会や訓練等を通じて対象となる住民に周知。

避難元：
おながわちよう えのしま
 女川町 (江島)
いしのまきし たしろじま
 石巻市 (田代島、網地島、金華山)



おながわちよう 女川港 又は いしのまきこう 石巻港



避難所受付ステーション：くりはらし おおさきし 栗原市、大崎市
 避難所 63施設 (39,995人) ()は収容可能人数

おながわちよう
 <女川町避難所 3施設 (800人)>
くりはらし
 栗原市 3施設 (800人)
 ・高清水小学校 (350人)
 ・旧高清水中学校 (350人)
 ・畑岡公民館 (100人)

いしのまきし
 <石巻市避難所 60施設 (39,195人)>
おおさきし
 大崎市 60施設 (39,195人)



【凡例】
 赤字・・・ おながわちよう 女川町
 青字・・・ いしのまきし 石巻市

※避難対象者数は、準PAZ内(離島)住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民及びその支援者を引いた数字である。

準PAZ内の離島における全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、409人分、バス19台。
- おながわちよう女川町及びいしのまきし石巻市が保有するバスのほか、宮城県は、「原子力災害時における緊急輸送に関する協定書」※1に基づき、宮城県バス協会が調整・確保する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、宮城県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

<全面緊急事態で必要となる輸送能力>

		想定対象人数※2	想定必要バス数※3	備考
バスにより避難する住民※4	<small>えのしま</small> 江島	3人	1台	
	<small>たしろじま</small> 田代島	59人	3台	
	<small>あじま</small> 網地島	339人	14台	
	<small>きんかさん</small> 金華山	8人	1台	
合 計		409人	19台	

※1 宮城県と公益社団法人宮城県バス協会（協力事業者84社）が、平成30年9月13日に締結

※2 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※3 バスは1台あたり25人の乗車を想定

※4 全面緊急事態で避難する離島の住民は、おながわこう女川港又はいしのまきこう石巻港からバスで避難所へ避難

<全面緊急事態での輸送能力の確保>

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)最大必要車両台数		19台	
(B)車両確保台数		計19台以上	
確保先	宮城県バス協会	19台以上	UPZ内のバス会社が保有する車両総数114台のうち、PAZ内の施設敷地緊急事態及び全面緊急事態、準PAZ内の施設敷地緊急事態で使用する49台の車両を除く、残りの65台の車両を使用

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）が必要に応じ支援を実施